



鯖江発地方創生!

# 『さばえものづくり商品券』は、鯖江を元気にする!/?



4月29日に販売を開始した「さばえプレミアム商品券」と「さばえものづくり商品券」。  
4月号でもお知らせしましたが、両商品券ともに“プレミアム付き”ということで、市民の皆さんの関心も高く、「さばえプレミアム商品券」については、販売開始3日目で完売となりました。

しかし!今回、特に全国から注目を浴びたのが『さばえものづくり商品券』。そんな情報を聞きつけて、何やら鯖江市民のサバ男くん とサバ子さんがこんな会話をしていました。。

- 『さばえものづくり商品券』って、どれくらいお得なの?
- 1枚3,000円の商品券を2,000円で買えるんだ。つまり50%のプレミアム付きなんだよ。
- 50%のプレミアム付き?それじゃあ10,000円で15,000円のお買い物ができるのね。それで、どんなものが買えるの?
- 『さばえものづくり商品券』というだけあって、鯖江の三大地場産業の眼鏡・繊維・漆器製品が対象なんだ。産地ならではの製品を市内外の人に気軽に買ってもらうって、鯖江のものづくり技術のすばらしさを日常生活の中で実感してもらうんだ。
- そうなのね、私も鯖江に暮らしているながら、鯖江でつくられているものを知っているようで知らないのかも…
- まずは、鯖江に住んでいる僕たちが「ものづくりのまち鯖江」を実感するために、地場産品を愛用して、製品の良さをどんどんPRしていかないとね。そうやって、「モノ」が動いていけば地域経済も動いて、まちも徐々に元気になると思うよ。
- なるほど!じゃあ、『さばえものづくり商品券』は、鯖江を元気にするかもね。
- そうそう、『さばえものづくり商品券』は残りわずからしいから、買うならお早めに!

詳しくは、市ホームページ『さばえものづくり商品券』で検索 問合先 鯖江商工会議所 ☎51-2800

## ふるさと散歩道

第247回

### 神仏分離と神社合祀

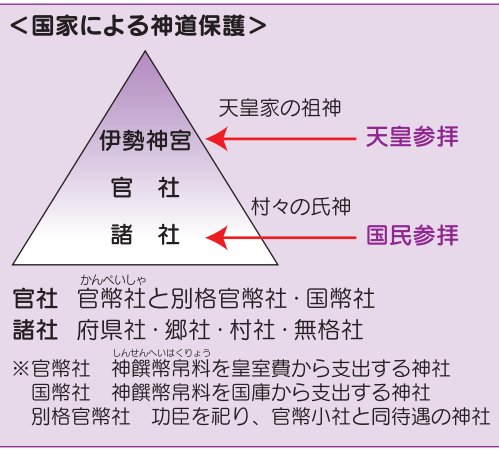
— 通史編 近代⑥ —

明治六年（一八七三）三月、政府の宗教政策に反発した越前の真宗僧や門徒は、大野・今立・坂井三郡下で大一揆を勃発させます。このため、鯖江には旧武士層・警官・軍隊からなる一揆鎮圧の拠点がおかれ、一揆勢からは斬首を含めた多数の処罰者を出しました。

廃仏毀釈運動が進むと神社の祭祀を兼ねた僧籍の別当は神官に転じ、神仏習合が顕著な諸仏教界は著しく衰退しました。そこで、事態を憂慮した明治政府は仏教保護に乗り出すと同時に、天皇中心の国家体制を確立するため「神社は国家が祀る（国家神道）」ことを名言して神道を他の宗教から切り離しました。さらに、神社を地域の中心とするため、氏子区域と行政区画を一致させて一町村一神社とする政策をとりました。

結果、小村里の神社は統廃合され、境内地の移転や社号の変更が進みました。福井県下でも三六八五社あった神社が大正九年（一九二〇）には一六八八社に大幅に減少しています。政府によって急速に推し進められた宗教改革は、人々の信仰や生活の在り方を大きく変え、新国家体制の基盤づくりに利用されていったのです。

（文化課 藤田 彩）



訂正：第246回で「ほろんか騒動」の発生年を明治4年」と記載しましたが、「明治6年」の誤りです。